

◆ 地域で高める取組

学校、家庭、地域で連携し、地域（人・もの・こと）を生かした取組を通じて、子どもたちを育みます。

・ 地域協働の推進

保小中CS運営協議会や物部地域学校協働本部（物部っ子を育てる会）が中心となり、地域一体となった教育を推進しています。

・ 連携活動

参観日や保・小・中合同運動会、物部っ子Fes!、小中マラソン大会、芸術鑑賞会といった具体的な行事を通じ、地域との関わりを深めています。また小学5・6年生は、中学校での学習体験や部活体験などを通して、小学校から中学校へのスムーズな移行を図っています。

このような活動を通して、子どもたちが将来、物部の地で活躍し、地域に貢献できるたくましい大人になることを心から願って、教育活動を進めています。

マラソン大会（小・中）



物部っ子Fes!（保・小・中）



プール掃除（物部っ子を育てる会も参加）



合同運動会（保・小・中）



鏡野中学校区『みんなであいさつ運動』実施中！

毎月20日 ※土・日・祝日の場合は翌平日に実施します

探究・協働・創造 学びの融合で、未来を拓く^{ひら}

～ 大柵保・小・中の取組 ～

大柵中学校区では、保育園・小学校・中学校が連携し、地域とともに子どもたちの未来を育む「（保）小中一貫教育グランドデザイン」を推進しています。この取組は、個別の力を協働の力へと変え、子どもたちが主体的に将来を考え、やがて地域の未来を担う存在となることを目指しています。

◆ 地域の特色と子どもたちの実態

大柵中学校区の地域は、自然豊かで学校教育に協力的という特色がありますが、少子高齢化が進んでいます。児童・生徒は素直で、郷土への愛着心を持っている一方、コミュニケーション力やチャレンジ精神に課題があるという実態が見られます。地域からは、「心身ともに、たくましい子に」「郷土を愛し、地域に貢献する子に」「主体的にいろいろなことにチャレンジする子に」なってほしいという強い思いが寄せられています。

◆ めざす子ども像

① 地域愛をもち、地域に貢献できる子ども

郷土愛

② 主体的に挑戦し、粘り強く取り組む子ども

チャレンジ精神

③ 挨拶ができ、考えを聞き、伝えることができる子ども

コミュニケーション力

④ 自他を大切にし、自分に誇りをもてる子ども

自尊感情

⑤ 基礎、基本を身に付け、探究できる子ども

学力向上

◆ 具体的な取組

【主体的な学びと心の育成】

子どもたちが上の5つの力を身につけられるよう、「主体的・対話的で深い学びの実現」を柱に、二つの主要な取組を、地域とも連携しながら進めています。

1. 学びで高める取組

・ 物部未来学の充実

物事の本質を探って見極めようとする探究的な学びを定着させます。地域学習を通して、自己の生き方や地域の文化・継承・活性化に関わる探究を行い、自己の未来設計につなげることを目指します。

・ 学力の定着と授業のアップデート

ICTの効果的な活用を実践することにより、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図ります。また、小学校の複式教育の指導方法の中学校への接続・連携も図ります。

2. カミシ物部プラン（仲間づくりと自尊感情の向上）

・ 「イエナプラン教育」のエッセンス（一人ひとりを尊重しながら自律と共生を学ぶ教育）を取り入れたカミシ物部プランを確立します。

・ 「対話」を中心とした仲間づくりを促進し、コミュニケーション力を向上させます。

・ 異年齢交流を通じ、創造力向上やインクルーシブ教育の考え方（多様な人々を排除せず、すべてを受け入れ、ともに学ぶ環境を目指す考え方）の醸成を目指し、自尊感情の向上につなげます。

・ 「将来の夢や目標」につなげるキャリア教育を推進します。